

P検合格シリーズ「P検準2級ドリル」《Office2013対応 解説書》

本書は、ご購入いただいた「P検準2級ドリル」をWord2013、Excel2013で学習するときのための解説書です。

2013は、2010/2007と画面・操作方法が類似していることから、ドリルの「2010/2007共通」のページを参照していただき、異なる箇所については以下の解説を正誤表のように利用して学習してください。

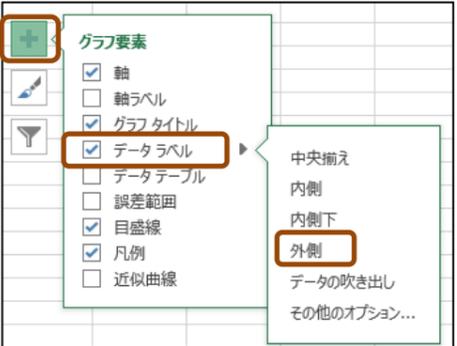
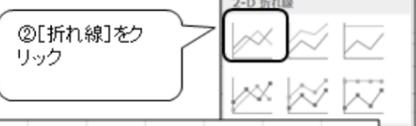
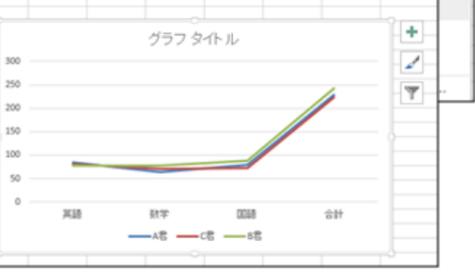
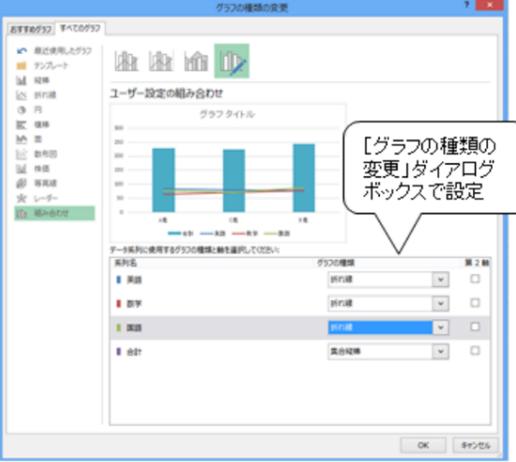
■第5章 ワープロA

お願い → ドリルの21ページ(リボン、ボタン類)は、すべて本書裏面のWord2013のボタン、リボン類と差し替えてください。

異なる箇所	ページ	ドリル (Word2010/2007) に記載されている内容	Word2013で学習する場合 (茶色文字部分がテキストと異なる箇所です)
5A-1.文書の編集 ⑥透かしの設定	別冊 「解答」 19頁	<p>⑥透かしの設定 <解答> (ア)=な</p>  <p>[ページレイアウト]タブ [ページの背景]グループ の[透かし]をクリック 一覧から「至急2」を選択</p>	<p>⑥透かしの設定 <解答> (ア)=な</p>  <p>[デザイン]タブ [ページの背景]グループ の[透かし]をクリック 一覧から「至急2」を選択</p> <p>Word2013の場合は、 [透かし]ボタンは、新しくできた[デザイン]タブにあります。</p> <p>なお、別冊「解答」の正解は 変わりません。</p>
5A-1.文書の編集 ⑧目次の作成	ドリル 24頁	<p>下欄</p> <p>①手動作成目次 ②目次の挿入 ③選択範囲を目次ギャラリーに保存</p>	<p>下欄を以下のように変更してください (Word2013では、「目次の挿入」は「ユーザー設定の目次」の名称に変わりました)</p> <p>①手動作成目次 ②ユーザー設定の目次 ③選択範囲を目次ギャラリーに保存</p> <p>別冊「解答」の正解は変わりません。</p>
5A-2.図・図形の挿入 ⑩クリップアートの挿入	ドリル 25頁	<p>1. クリップアートの挿入(ひまわり:任意) <操作手順> [挿入]タブ(図B)の(ア)をクリック。 画面右側に表示された「作業ウィンドウ」の「検索」ボックスに「ひまわり」と入力し、 [検索]ボタンをクリック。表示された中から任意のクリップアートをクリック。</p>	<p>1. クリップアートの挿入(ひまわり:任意) <操作手順> [挿入]タブ(図B)の(ア)をクリック。 表示された「画像の挿入」ウィンドウのOffice.comクリップアートの「検索」ボックスに 「ひまわり」と入力し、 [検索]ボタンをクリック。表示された中から任意のクリップアートをクリック。</p>
5A-2.図・図形の挿入 ⑪トリミング	ドリル 26頁	<p>1. クリップアートの下を3mmトリミング <操作手順> (Word2010の場合)</p>  <p>(図4) Word2010</p>	<p>1. クリップアートの下を3mmトリミング <操作手順> (Word2013/2010の場合)</p> <p>操作手順は、Word2010と同様ですが、 図4の「図の書式設定」の画面は異なります。 なお、別冊「解答」の正解は変わりません。</p>  <p>(図4) Word2013</p>

■第6章 表計算A

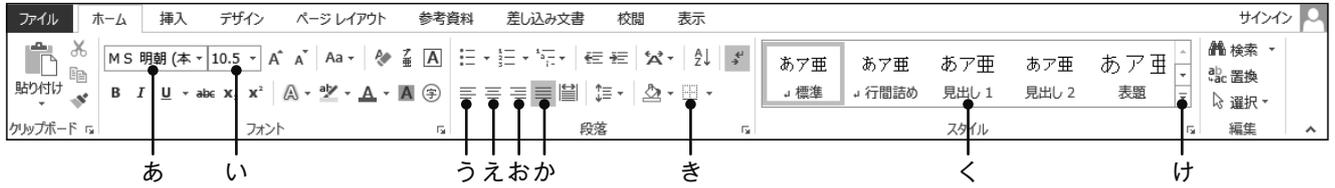
お願い → 以下の「異なる箇所」は、Excel2013では操作方法が異なりますので、すべて差替えてください。

異なる箇所	ページ	Excel2013の場合は、以下の「問題文」および「解答と解説」に差し替えて学習してください。	
<p>6A-3.グラフの作成・編集 ⑫目盛線の変更</p>	<p>ドリル 47頁</p>	<p>⑫目盛り線の変更 グラフの縦(値)軸の値が「10点」刻みで、「200」点から表示されるように設定する。</p> <p>1. 軸の書式設定 <操作手順> Excel 2013の場合 以下の問の()に当てはまる適切なものを下欄より選択してください。 グラフの「縦(値)軸」を右クリック。ショートカットメニューから[軸の書式設定]を選択。 表示されたダイアログボックスの「軸のオプション」(図12)で以下を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●[最小値] …(ア) ●[最大値] …(イ) ●[目盛間隔] …(ウ) ●[補助目盛間隔] …(エ) <p>①「10」に設定 ②「200」に設定 ③ 変更しない (選択肢の複数回の選択可能)</p>	<p>(図12)</p>  <p>別冊「解答」の正解は変わりません。</p>
<p>6A-3.グラフの作成・編集 ⑬グラフラベルの表示</p>	<p>ドリル 48頁 別冊「解答」 32頁</p>	<p>ドリル(48頁) ⑬グラフのラベルの表示 合計の「集合縦棒」グラフにデータの値を表示します。</p> <p>1. 「外側」にラベルを設定 <操作手順> Excel 2013の場合 以下の問の()に当てはまる適切なものを下欄より選択してください。 グラフを選択。グラフの右上に表示された「+」(ア)から [データラベル] にチェックを入れ、一覧から[外側]を選択。</p> <p>①グラフエリア ②プロットエリア ③グラフ要素</p>	<p>別冊「解答」(32頁) ⑬グラフのラベルの表示 * 解答は変わります。 <解答> Excel 2013の場合 (ア)=③</p> 
<p>6A-3.グラフの編集 ⑭複合グラフの作成</p>	<p>ドリル 48頁 別冊「解答」 32頁</p>	<p>ドリル(48頁) ⑬グラフのラベルの表示 「合計」点を「集合縦棒」に、「英語」「数学」「国語」の点数を「折れ線」グラフにした複合グラフを作成します。</p> <p>1. 最初に、すべてのデータを同じグラフで作成 <操作手順> 以下の問の()に当てはまる適切なものを選択してください。(イ)は下欄より選択。 セル[A2:F5]を範囲選択。 [挿入]タブ(図D)の(ア)をクリックし、一覧より(イ)を選択。</p> <p>2. 横(項目)軸が、氏名となるように変更 <操作手順> 以下の問の()に当てはまる適切なものを選択してください。 [グラフツール]-[デザイン]タブ(図F)の(ウ)をクリック。</p> <p>3. 複合グラフの完成 <操作手順> Excel 2013の場合 以下の問の()に当てはまる適切なものを選択してください。 (オ)は下欄より選択。 任意のグラフを選択。[グラフツール]-[デザイン]タブ(図F)の(エ)をクリック。 表示されたダイアログボックスのグラフの「組み合わせ」で以下を設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語…折れ線 ・数学…折れ線 ・国語…折れ線 ・合計…(オ) <p>①集合縦棒 ②集合横棒 ③折れ線</p>	<p>別冊「解答」(32頁) ⑬グラフのラベルの表示 <解答> (ア)=ね、(イ)=③、(ウ)=も、(エ)=む、(オ)=① * 解答は変わりません。</p> <p><Excel2013の操作手順> 1. 最初に、すべてのデータを同じグラフで作成</p>  <p>①[挿入]タブの [折れ線グラフの挿入]をクリック</p>  <p>②[折れ線]をクリック</p>  <p>2. 横(項目)軸が、氏名となるように変更 [グラフツール]-[デザイン]タブの[行列の切り替え]で設定</p> <p>3. 複合グラフの完成</p>  <p>[グラフの種類の変更]ダイアログボックスで設定</p>

第5章 ワープロA (21ページの差し替え)

以下の図は、この後の問題で出てくるリボン、ボタン類です。(Word 2013の場合)

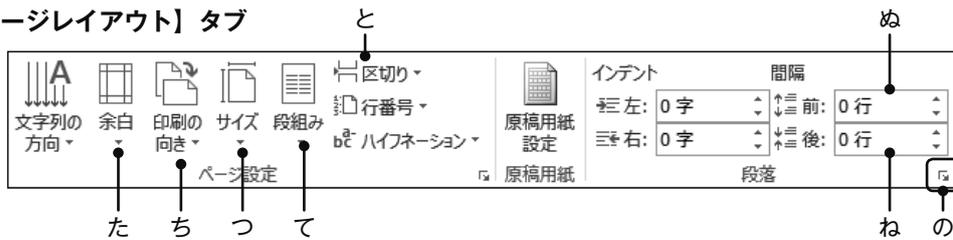
◆図A 【ホーム】 タブ



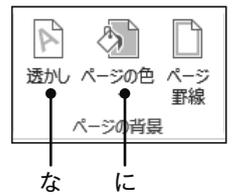
◆図B 【挿入】 タブ



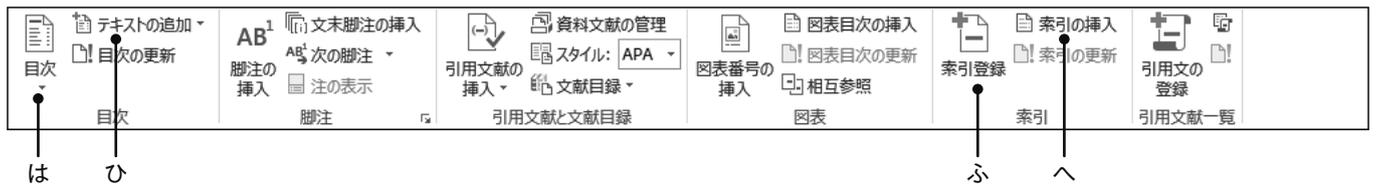
◆図C 【ページレイアウト】 タブ



【デザイン】 タブ



◆図D 【参考資料】 タブ



◆図E 【表ツール-レイアウト】 タブ



◆図F 【差し込み文書】 タブ

